

「みんなで協力」

ニュージャージー日本人学校小4



須藤 いろ

でも、とても楽しみにしていたのは、ロッククライミングとキャンプファイヤーです。

八月。フロストバレーの準備が始まりました。前はフロストバレーにはきょうみがなかったけれど、準備をしていくことに楽しみになりました。

そしてフロストバレーの前日、荷物の用意をしました。すごく楽しみで楽しんでしようがなかったのですが、わたくしは、フロストバレーのことを考えていました。その中

ロッククライミングは、公園でしかやることがなかったし、高さが十五メートルもあると聞いたので、とつてもつても楽しみでした。キャンプファイヤーは、自分の出番がいつばいあつたから、そして、ほんのみんなできり上げたげきをうまくやるのが楽しみでした。

フロストバレー当日。一つ目のアクティビティが終わった後はいよいよロッククライミングです。私より前にやつた人を見ると、とてもかんたんそうでした。でも、自分の番がくると、

足をかけるところがなかったり、手でつかまるところがなかったり、手でつかまるところのねじがゆるんでくるくる回つたりしていたので、思った以上にむずかしかったです。でも、下にいるみんなが、「がんばれ！右足赤！左足青！」とおうえんしてくれたり、アドバイスをくれたりして、やつと、ちよう上に着きました。とてもほつとしました。

でも、下を見ると、みんなが二ミリぐらいに見えて、とてもこわかったです。

(滞米8か月)

※1年前に投稿した作文が、今回掲載されました。

週刊NY生活9月19日